

東海経済レポート

（2019年6月）

～景気は全体として堅調に推移している～

【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は全体として堅調に推移している。企業部門では、金属工作機械の受注が前年比減少を続けているものの、設備投資は増加基調を維持している。生産と輸出は一進一退となっているものの、底堅さを維持している。家計部門では、雇用環境は引き続き歴史的に良好ながら、個人消費は斑模様で推移している。
- 生産は、4月の鉱工業生産指数が前月比+1.9%と、2ヵ月ぶりに上昇した。業種別では、電子部品・デバイス工業が前月比2桁の低下となったほか、生産用機械なども減産となったが、当地域主力の輸送機械が2ヵ月ぶりに増産となった。
 - 設備投資は、2019年1-3月期の大企業の投資額が前年比+9.3%と4四半期連続で増加。非製造業が大きく伸び、製造業も増勢を維持。金属工作機械の受注は、当地区主要8社の国内受注額が4月に前年比▲24.5%と5ヵ月連続で減少した。
 - 輸出額（円ベース）は、5月に前年比▲2.3%と4ヵ月ぶりに減少した。米国向け、EU向けは増加したが、中国向けが同▲9.4%と減少したほか、他のアジア各国向けも総じて前年比マイナスとなった。品目別では、自動車が増加を続けたものの、自動車部品が同▲10.8%と減少幅が拡大したうえ、電気機器や一般機械も前年比マイナスとなった。
 - 4月の有効求人倍率は、愛知県がリーマン・ショック後の最高を更新したほか、岐阜県も2月に記録したバブル後の最高水準にまで再び上昇、三重県も小幅上昇した。3県ともに労働需給の引き締まった状態が継続している。
 - 個人消費関連では、4月の小売主要3業態の販売額が前年比▲0.6%と2ヵ月ぶりに減少した。業態別では、スーパーが同▲1.3%と2ヵ月ぶりに減少となり、全体を押し下げた。一方、4月の新車販売台数は同+0.5%と、2ヵ月ぶりに増加した。
 - 住宅着工戸数は、4月に年率換算7.4万戸、前年比▲16.1%と5ヵ月ぶりに減少した。持家は10ヵ月連続プラスとなったが、貸家、分譲マンション及び分譲戸建てが揃ってマイナスとなった。

【生産①】

4月の鉱工業生産指数は前月比+1.9%と、2ヵ月ぶりに増加。

鉱工業生産指数

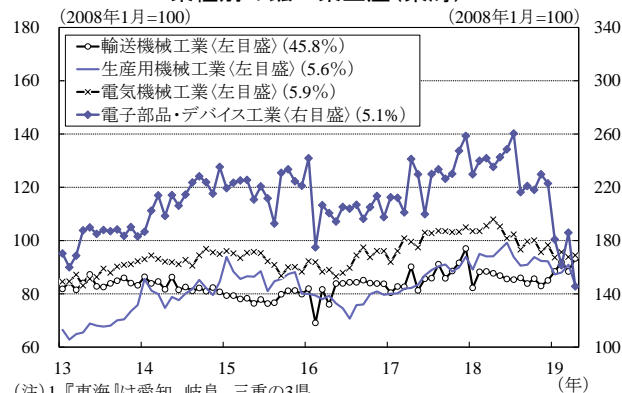


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

電子部品・デバイス工業や生産用機械が前月比減産となったが、主力の輸送機械が増産となった。

業種別の鉱工業生産(東海)



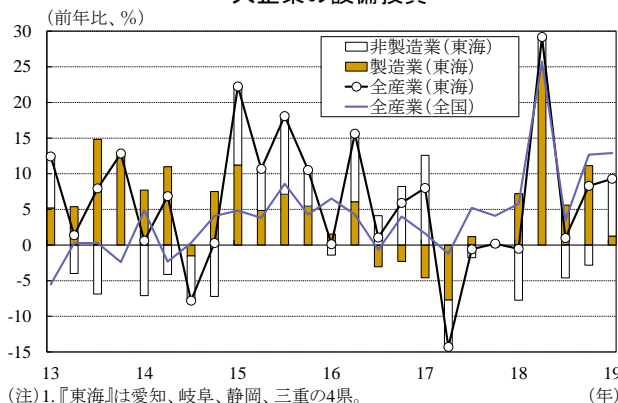
(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

1-3月期の大企業の設備投資は前年比+9.3%と4四半期連続で増加。

大企業の設備投資

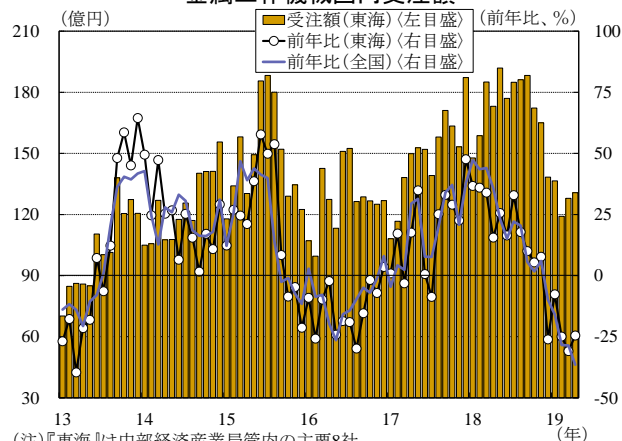


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額(当地区内の主要8社)は4月に前年比▲24.5%と、5ヵ月連続の減少。

金属工作機械国内受注額

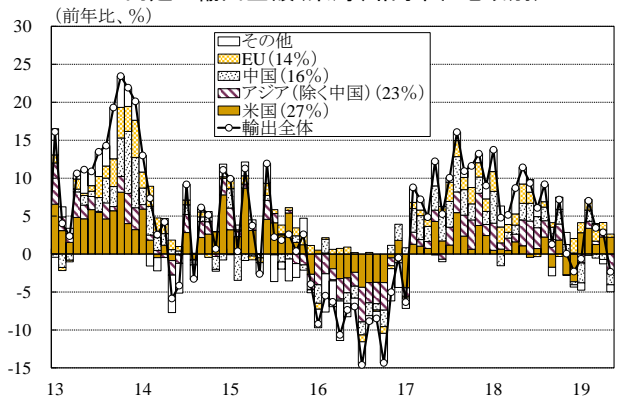


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

5月の輸出額(円ベース)は前年比▲2.3%と4ヵ月ぶりの減少。中国及びアジア諸国向けが減少。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

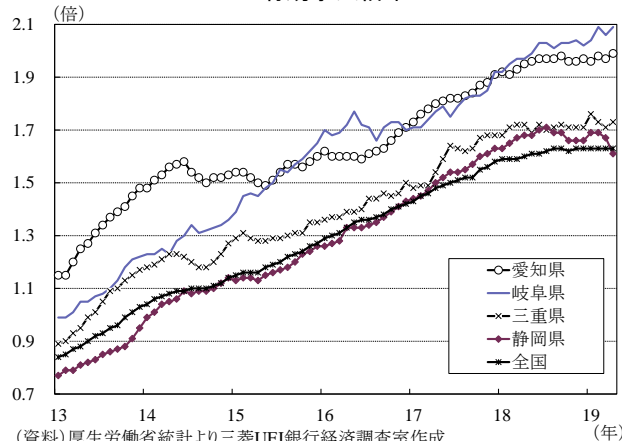


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2018年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

4月の有効求人倍率は、愛知、岐阜、三重の3県揃って上昇。愛知県はリーマンショック後の最高へ。

有効求人倍率

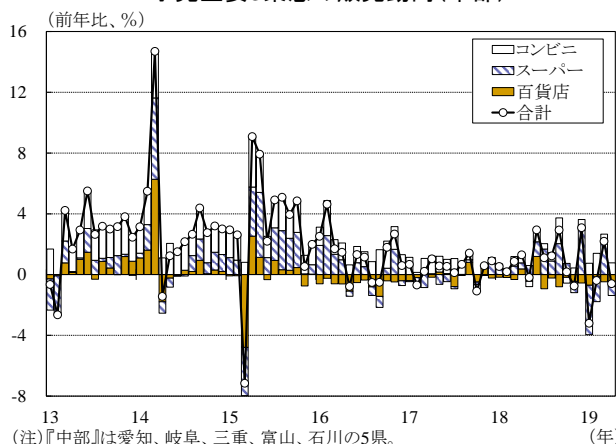


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

4月の小売主要3業態の販売は前年比▲0.6%と2ヵ月ぶりの減少。スーパーと百貨店が前年割れ。

小売主要3業態の販売動向(中部)

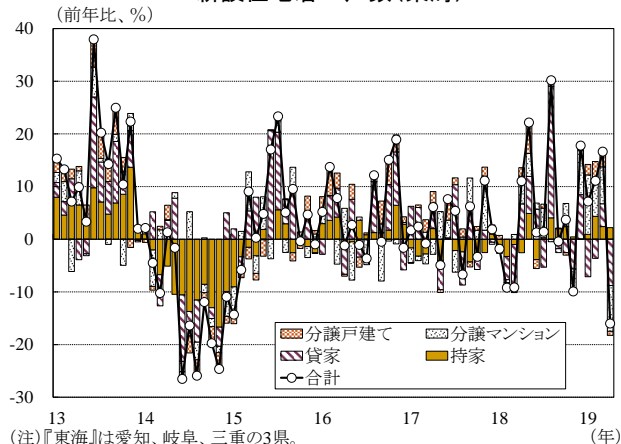


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

4月の住宅着工戸数は年率換算7.4万戸、前年比▲16.1%減。5ヵ月ぶりの前年比マイナス。

新設住宅着工戸数(東海)

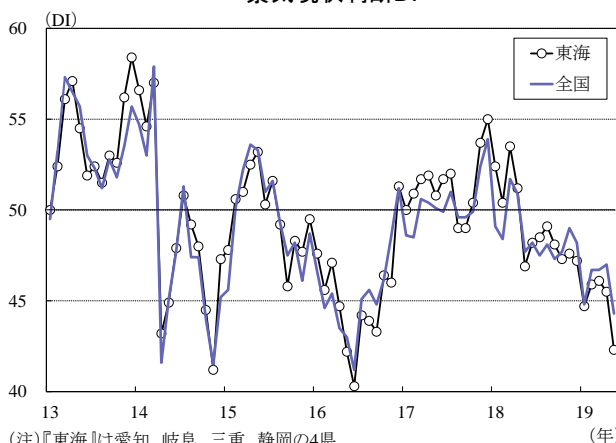


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

5月の現状判断DIは42.3と、2ヵ月連続で低下。2016年6月(40.3)以来となる低位。

景気現状判断DI

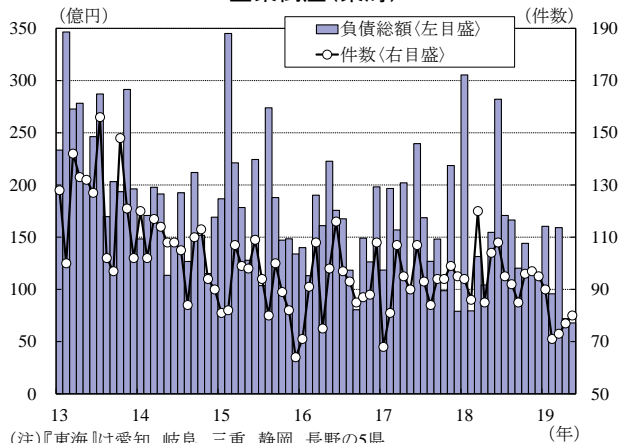


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

5月の企業倒産件数は80件で、前年比▲23.1%の減少。負債総額は68億円で、同▲56.1%の減少。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、米中対立等から一時50ドル台に下落も、足元ではイラン情勢緊迫化等から57ドル台に。

原油価格

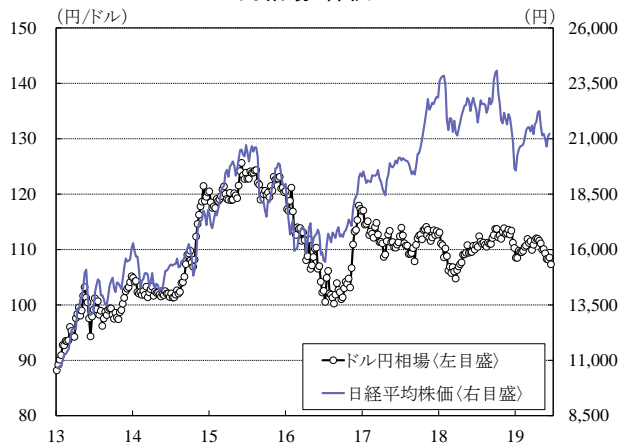


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

為替市場は米国の利下げ観測を背景に円高方向に推移。本邦株価はリスク志向の強まりを背景に上昇。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。